

議会報告会 報告書

令和7年11月29日

大竹市議会

議長 北地 範久 様

班 名 C班

班 長 藤川 和弘

議会報告会の実施状況について、次のとおり報告します。

1 開催日時

令和7年11月13日（木） 14時30分～16時00分

2 開催場所

木野集会所

3 参加人数

9人

4 担当班議員名

班 長 藤川 和弘

副班長 小出 哲義

班 員 山代 英資、中野 友博

5 報告会次第

(1) 開会あいさつ

(2) 議会からの報告

総務文教委員会

「家庭用防犯カメラ等の購入費・設置費補助金について」

「西国街道の整備について」

生活環境委員会

「手話言語条例の制定について」、「補聴器購入助成について」

議会運営員会

「岩国基地における空母艦載機の着陸訓練に関する意見書の提出
について」

広報広聴特別委員会

「議会情報の発信（SNS、議会だより）について」

(3) 意見交換

(4) 閉会あいさつ

6 議会からの報告についての主な質疑応答

(回答した質疑)

Q：防犯カメラの説明がありましたが、木野川手地区でどのくらいの防犯カメラが設置してあるのでしょうか。

A：大竹市が設置している防犯カメラについては、市内全域で35台あります。そのうち、木野・川手地区については、両国橋に1台設置しています。また、周辺地域においては、油見トンネルの大竹側、さらに元町のマルキュウ前にも設置しています。

Q：補聴器の件ですが、最近特に耳が悪くなってきたので補助が出るのは助かります。

A：診断書が出てからでないと費用が請求できないので、この点は気を付ける必要があります。補聴器の調整ができる店舗は市内に2店あり、その他の店舗については、市役所で調査確認作業を行っています。

(回答しなかった質疑)

特になし。

(意見・要望等)

特になし。

7 意見交換

(回答した質問)

Q：木野地区の人口減少に加え、自治会からの退会者の増加により、自治会運営が行き詰まり、様々な行事が縮小傾向です。また民生委員も欠員のままの状態です。大竹市として自治組織をどのように存続させるかを検討すべきではないでしょうか。

A：木野、川手地区に限らず、各地域共通の課題と認識しています。議会と執行部が真剣に向き合い自治会組織のあり方を検討していきたいと思えます。

Q：木野地区は公共交通の坂上線バスの運行ルート上にありますが、便数が少ない為に結果タクシーを利用しています。坂上線バスは、油見トンネルを通過して木野地区をルートから外してもらおう代わりに、こいこいバスを延伸してもらえないですか。

A：自治会単位でデマンド型乗合タクシーを検討する方法もあります。

Q：道路舗装を行っても、その後の官民の上下水道工事によって舗装がガタガタとなっています。一度に出来ないのでしょうか。

A：民の給排水工事はやむを得ないと考えますが、市の工事については、土木課、上下水道局が連携強化を図るよう要望していきます。

Q：市の歳入の状況を知りたいです。

A：市税等で賄えない部分は、国等の補助金に頼っています。本市の財政力指数は0.72で、歳入と歳出のバランスを考えて政策を行うよう努めています。

Q：大竹市の人口減少の対策についてどのように考えていますか。

A：子育て支援、小方まちづくりの状況等、大竹市の取り組みを説明しました。

(回答しなかった質問)

- ・木野支所跡地は建物が解体され更地となっているが、今後の計画を示して頂きたいです。
- ・地区内に空き家が増加しており、中には壁や屋根が崩落しているものもあります。また、車をそのまま放置している民家もあります。市は実態を把握しているのでしょうか。
- ・イノシシ等の獣害があります。今年の夏も茄子等の収穫物が荒らされています。何とかならないのでしょうか。
- ・不法投棄がひどい個所がありました。住民総出で清掃し、手作りの看板を設置してからは状況は落ち着いていますが、車からそのまま投げ捨てる人もいます。

(意見・要望等)

- ・生協が移動販売車で月曜日と金曜日に来ていますが、生鮮食品が少なかったり、量が少なかったりします。車が利用できる方はいいですが、乗れなくなった時が心配です。

8 気付きや反省点

- ・木野・川手地区の会場では9名の方に参加いただきましたが、議会報告に対する質疑応答まで従来どおりの対面形式で行い、意見交換会では、趣旨を説明し、参加いただいた方を2つのグループに分けて、円卓フリーディスカッション形式の意見交換を行いました。
- ・一人一意見を目標としてフリーディスカッションをさせていただきましたが、一人一人の距離が近いことが功を奏し、活発な意見交換ができました。時間の経過が短く感じられ、結果多くの参加者から「今までにない試みで楽しかった」との声を頂けました。
- ・地元以外では、広島市から1名、元町から1名の参加がありましたが、地域のみ話題に終始してしまうことの難しさも感じました。